



2019年3月12日

各位

会社名 株式会社白鳩  
 代表者名 代表取締役社長 池上 正  
 (コード: 3192 東証JASDAQ)  
 問合せ先 取締役管理本部長 服部 理基  
 (TEL. 075-693-4609)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2018年11月28日に公表いたしました2019年2月期(2018年9月1日～2019年2月28日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2019年2月期業績予想数値(2018年9月1日～2019年2月28日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円銭)
前回発表予想(A)	2,900	26	26	18	2.77
今回発表予想(B)	2,667	7	6	1	0.15
増減額(B-A)	△233	△19	△20	△17	—
増減率(%)	△8.0	△73.1	△76.9	△94.4	—
(ご参考)前期実績 (2018年8月期)	5,384	199	182	127	22.29

(注) 第47期(2019年2月期)につきましては、決算期変更により2018年9月1日から2019年2月28日までの6か月間となっております

#### 2. 修正の理由

昨今の配送料の値上げに伴い、当社におきましても、国内ECで2018年8月より配送料金の一部をお客様に転嫁せざるを得ない状況となりました結果、送料負担の増加によって購買を控える動きが見られる中で、暖冬の影響で秋冬物の販売が出遅れたことによる売上の低迷と、その後の在庫消化に向けたセールにより利益率が悪化したことが要因となりました。併せて中国市場におきましては購買需要の変化により、中国大手ECにおけるインナーウェアの露出が減り、売上が減少したことも要因となりました。

また、新本社物流センターの建設準備に伴い、現倉庫の商品を保管するための仮倉庫物件が近隣地で見つかったため、想定よりも早く契約したことによる賃料の発生も利益減少の要因のひとつとなっております。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上